

## ロシア語の報道文体における人物に対するパラフレーズのメカニズム

せりあきのり  
世利彰規 東京大学大学院 人文社会系研究科

seriakinori0108@gmail.com

### 1. 序論

#### 1.1. はじめに

ロシア語の新聞・ニュースなどフォーマルな書き言葉において同じ語の繰り返しは回避され、パラフレーズが多用される傾向にある。このパラフレーズの仕組みについて人文科学としてのテキスト言語学の立場から取り扱う。

#### 1.2. 概念・用語について

本稿ではパラフレーズについて「同じ意味内容を表現を変えてくり返す」(ボーグランド 1984: 64) という定義を採用する。パラフレーズには名詞によるもの、動詞によるもの、句レベルのものがあるが、今回は名詞による語レベルのパラフレーズを対象とする。「言い換え」という用語も同様の意味を持つが、こちらは一般的には自然言語処理の一分野とみなされる。混同を避けるため、本稿では「パラフレーズ」という用語を用いる。

### 2. 問題提起と先行研究

#### 2.1. 問題提起

自然言語の研究において重要な概念のひとつに「言語の経済性」(マルチネ 1972: 247)がある。「言語の経済性」によると、言語の語彙には完全に一致する同義語が存在しない。それは記憶領域をできる限り経済的・効率的に使うためである。これはテキストのレベルにもあてはまる。「言語の経済性」の観点からみれば、使用される語彙はなるべく限られるほうがよい。同じ事柄や概念を指し示すのに毎回異なる表現を使用するときも記憶に負担がかかる。しかし文学者は同じ語の繰り返しを避け、そうすることによって文意が明瞭になると主張している(外山 2002: 135)。

なぜ同じ事柄や概念を違う語で表現するのだろうか。理由の一つとして単調さの回避が考えられる。ここで「パラフレーズは単調さをどのように避けているのか」という問題を提起する。

#### 2.2 先行研究

テキスト言語学においてこのパラフレーズは「テキスト照応 Textphorik」として「再現形式」「テキスト指示」の理論によって研究される(亀井 1996: 959)。同じ対象物を違う語や表現で言い換えることはテキスト言語学で「連辞的代入 syntagmatische Substitution (Harweg 1979: 20)」と名づけられ、照応表現の一種とみなされる。

### 3. 作業仮説

1.1.で提起した問題は文法だけではなく、文体にもかかわる。パラフレーズが適用される名詞は、①受け手が既に知っているもの、②受け手にとって未知のもの、の2つに分類される。本稿では既知のことがらに対するパラフレーズを取り上げる。

既知の情報をになうとき、パラフレーズが単調さを避ける機能を持つ。このパラフレーズの作用に1.異なる語句による交替の他に、2.語数や文による分節が関係すると仮定する。

### 4. 分析

ここから上に挙げた2つの手段がどのように機能しているのか具体的な分析によって明らかにする。着目すべきことは、語順が比較的自由であるというロシア語の特徴である。テキストにおいて語の配列される順序は、多くの場合、その語によって伝達される情報が古いものか新しいものかによって決定される。既に出てきたもの、周知のものは前に、新しいものは後に配置される傾向がある(亀井 1996: 124)。そのため、どのパラフレーズがどこに置かれるかが意味を持つ。

以上のことを考慮して次の分析をおこなう。頻用される具体的な「大統領」「首相」に対する言い換えがどのような規則で現れるのかを a) テキスト内、b) 文における位置に着目してタイプ分けしていく。ロシアの報道ウェブサイト (<http://www.1tv.ru/>) における報道テキスト(2011年10月から2012年12月の期間における全64テキスト、総語数5174語<sup>1)</sup>)を対象とする。

### 5. 分析結果

対象としたテキスト内で見られた「大統領」「首相」に対するパラフレーズのタイプを以下に示す：

首相	大統領	個人名 <sup>2)</sup>
grava pravitelj'stva <sup>3)</sup>	grava gosudarstva <sup>4)</sup>	Dmitrij Mjedvjedjev
grava rossijskogo pravitelj'stva prem'jer <sup>5)</sup>	grava rossijskogo gosudarstva prezidjent <sup>6)</sup>	Vradimir Putin Mjedvjedjev
prem'jer-ministr Rossijskij prem'jer-ministr	prezidjent Rossii rossijskij prezidjent rossijskij lidjer <sup>7)</sup>	Putin

<sup>1)</sup> 用例は開始1~3段落までを基準として取った。会話文やレポートが入ることでアナウンサーによるテキストが中断されるためである。

<sup>2)</sup> 個人名称については、父称のつく場合とそうでない場合とを区別した。ロシア語において名前に父称がつく場合、「~さん」のような敬称のニュアンスをもつためである。

<sup>3)</sup> 英語の Head of state に対応する。

<sup>4)</sup> 英語の Head of government に対応する。

<sup>5)</sup> 英語の premier に対応する。

<sup>6)</sup> 英語の president に対応する。

<sup>7)</sup> 英語の leader に対応する。

## 5.1. 異なる語句による交替

実際の報道におけるテキストではこれらが連続するかあるいは交互に現れる。この出現についてタイプ分けした。以下にテキスト内のパラフレーズの出現タイプの分類表を示す<sup>8</sup>：

同じ表現が連続しない場合		同じ表現が連続する場合
AB	ABCA	AA
SA	ABCB	AAB
ABA	SABC	ABB
ABC	ABCAB	ABBA
SAB	ABCDB	ABCAA
ABAB	SABCA	SABBB
	ABABABA	

合成形である S は必ずテキストの冒頭に現れる。S が現れる場合、一度以上パラフレーズが用いられる。例えば、S が *grava pravitjel'stva Vradimir Putin* であるとき、テキストの後の部分で *grava pravitjel'stva* や *Putin* といったパラフレーズが用いられる。S は総括的な意味を持ち、それが展開されるかたちでパラフレーズされると考えられる。

## 5.2. 語数や文による分節

言い換えられる語句の間が語数や文によって隔てられる程度もパラフレーズの単調さを避ける機能がある。語句間の隔たりが大きいと、指示される対象が不明瞭になるため、同じ表現が連続する。このような例は今回調べた中で 9 つ見られた。同じ語による指示が 2 度続く場合、一例を除いて 20 語あるいは 1 文以上の隔たりがある。以下の表<sup>9</sup>に 9 つの例を示す：

タイプ	語数とピリオドの数	タイプ	語数とピリオドの数
AA	a..(38)a	ABBA	a(8)n..(31)n.(17)a
AA	n...(59)n	ABBA	n(14)a..(53)a..(21)n
AAB <sup>10</sup>	n..(17)n.(13)a	ABCAA	a.(15)n.(10)g.(39)a..(24)a
AAB	n..(42)n.(11)a	SABBB	S..(16)a.(32)n..(40)n...(50)n
ABB	n.(10)a..(38)a		

パラフレーズと比べられるのは人称代名詞による指示である。文体論の指摘する通り (Rozenal'

<sup>8</sup> 原則的に、ある人物を指示するときは最初に用いられる表現を A とする。次に使われた表現が異なる場合にはそれを B で表す。he にあたる代名詞 on もこれに含む。ただし、合成形 (prem'jer-ministr Vradimir Putin など官職名と個人名の組み合わせ) は S で表す。また、主格と斜格は区別しない。

<sup>9</sup> a は「大統領」などの役職名、n は個人名称を表わす。語数は括弧()内に、文の数はピリオドが打たれた回数で表した。例えば、「a..(38)a」は 1 テキスト内で同じ役職名が 2 度続けて用いられ、その間ピリオドが 2 度打たれ (文が 1 つ存在し)、38 語が置かれていることを意味する。

<sup>10</sup> このテキスト (<http://www.ltv.ru/news/economic/221506>) では 2 国家の首脳の対談を主題としている。パラフレーズを用いるとどちらの国の指導者を指すのか不明瞭になるため同じ表現が連続して用いられていると考えられる。

2008: 186)、代名詞は先行する名詞の直前に置かれる。今回得られた7つの例<sup>11</sup>では代名詞主格による指示が用いられるとき、10語以下で0文しか隔たらない。最も典型的な例をあげる：

*Sjegdnja ob etom zajavil Dmitrij Mjedvjedjev. On napomnil, chto k nynjeshnjemu razvitiju privjeli djejtviija livijskogo rukovodstva, s kotorym uzhe nje mozhjet imjet' djelo Zapad.*

(<http://www.1tv.ru/news/polit/173088>)

今日そのこと（リビアの内戦停止）についてメドヴェージェフ氏は表明した。彼は、最近の（戦況の）拡大はリビア政府の指導者の手によるもので、もはやヨーロッパはリビア政府との関係を断たなければならないことに言及した。

## 6. 結語

### 6.1. 結論

本稿では「大統領」「首相」など既知の具体的な人物について、単調さを避けて情報伝達を助けるパラフレーズの仕組みについて考察した。考察によって以下のことが明らかになった：①パラフレーズにおいて多くの情報を持つ合成形はテキストの初めに置かれる。②語句と語句の間の隔たりが一定以上ある場合、パラフレーズは使われずに同じ表現が連続する傾向にある。

### 6.2. 今後の課題

今回の調査は個々のテキストを手作業で処理した。そのため、分析対象が64例と限られたものとなった。したがって、より規模の大きな調査を行う必要がある。

パラフレーズはメッセージそのものを志向するヤーコブソンの「詩的機能」（ヤーコブソン 2008: 192）とも関係する。今回考察できなかったこの詩的機能との関係についての考察も課題となる。

また、パラフレーズと似た機能を持つ代名詞との関係も考えなくてはならない。今後の研究は、以上のような点に着目して体系立てて進めていく必要がある。

## 参考文献

D.E. Rozental' 2008. *Spravochnik po russkomu jazyku. Prakticheskaja stilistika*, Moskva.

R. Harweg 1979. *Pronomina und Textkonstitution*. München: Fink.

アンドレ・マルチネ 1972. 『一般言語学要理』東京：岩波書店

R. d. ボーグラント 1984. 『テキスト言語学入門』東京：紀伊国屋書店

ローマン・ヤーコブソン 2008. 「言語学と詩学」『一般言語学』東京：みすず書房

亀井孝 1996. 『言語学大辞典 述語篇』東京：三省堂

外山滋比古 2002. 「『の』」『外山滋比古著作集 8 風の音』東京：みすず書房

<http://www.1tv.ru/>

<sup>11</sup> cf. <http://www.1tv.ru/news/social/178634>, <http://www.1tv.ru/news/economic/192192>,  
<http://www.1tv.ru/news/polit/173088>, <http://www.1tv.ru/news/print/16721>,  
<http://www.1tv.ru/news/crime/165619>, <http://www.1tv.ru/news/print/179010>,  
<http://www.1tv.ru/news/polit/172946>